

インフォシス Finacle、独立系調査会社によるデジタル・バンキング・プロセッシング・プラットフォーム の法人および個人部門でリーダーに選出

バンガロール (インド) – 2022 年 10 月 6 日: インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) の完全子会社である EdgeVerve Systems 傘下の [インフォシス Finacle](#) は本日、「Forrester Wave™: Digital Banking Processing Platforms For Corporate Banking, Q3 2022 (2022 年第 3 四半期コーポレートバンキング向けデジタル・バンキング・プロセッシング・プラットフォーム) 」および「Forrester Wave™: Digital Banking Processing Platforms For Retail Banking, Q3 2022 reports (2022 年第 3 四半期リテールバンキング向けデジタル・バンキング・プロセッシング・プラットフォーム) 」でリーダーに選出されたことを明らかにしました。

Forrester Research 社は今回、コーポレートバンキング 7 個およびリテールバンキング 10 個のデジタル・プロセッシング・プラットフォームについて、現在提供中のサービスや戦略、市場での存在感を含む 33 項目の評価基準に基づく評価を行いました。同レポートでは、デジタル・バンキング・プロセッシング・プラットフォーム (DBPP) が各案件で満たすことが期待される分野を 3 つ定めており、Infosys Finacle はこの評価で DBPP のリーダーに選ばれました。期待される主な 3 分野は以下の通りです。

- **アーキテクチャのリーダー**として、銀行が今後求める要件に応え、急速な変化と継続的な変革をサポート
- **既製品の機能を幅広く生かした**、銀行の差別化の実現
- **優れたデザインのアーキテクチャ**で銀行の技術チームの能力を向上させ、銀行を大きく差別化する要素を拡張により創出

「Forrester Wave™ Digital Banking Processing Platforms For Corporate Banking, Q3 2022」

の概要

- EdgeVerve の [Finacle デジタル・バンキング・ソリューション・スイート](#) が「現在提供中のサービス」部門において全てのベンダーの中で最高ランクを獲得。この部門には、オフザシェルフ (既製品) のバンキング機能および差

別化要因、バンキング機能のサポート、API、ソリューションのアーキテクチャ、統合および変革、ソリューションのデリバリ、デリバリのリソース基準が含まれる。

- Finacle のデジタル・バンキング・ソリューション・スイートはまた、33 の評価項目中 15 項目で最高スコアである 5 ポイントを獲得。これにはオフザセルフ（既製品）のビジネスバンキングの差別化要素、API サポート、API 管理、アプリケーションのアーキテクチャ、セキュリティ、統合（コーポレートバンキング）、バンキング・アプリケーションのエコシステム、テスト、アップグレードおよび保守、モニタリングおよび可用性、クラウドベースのデリバリ、システムインテグレーター、計画的なアーキテクチャおよび技術の拡張、実行ロードマップ、デリバリモデル、売上高が含まれる。
- このソリューションは統合および変革、並びにソリューションデリバリの項目において全てのベンダーの中で最高スコアを獲得。
- Forrester Research 社によると、金融サービス企業の業務従事者と技術専門家の 73%が今後 1 年でコア・バンキング・アプリケーションへの投資を維持もしくは拡大する意向。

「Forrester Wave™: Digital Banking Processing Platforms for Corporate Banking, Q3 2022」レポートは[こちら](#)からアクセスが可能です（無料）。

Finacle のデジタル・バンキング・ソリューション・スイートについて、レポート内で Forrester 社のバイスプレジデント兼プリンシパルアナリストである Jost Hoppermann 氏は次のように述べています。「EdgeVerve (Finacle) は、コーポレートバンキングに API、統合、アプリケーションのエコシステムをもたらすものであり、今後のクラウドベースの既存サービス拡張計画の戦略として優れています。DBPP には、会計とアナリティクスの小規模な業務ソリューションを upSWOT 経由で事前に統合するなど、他社と差別化を図れるビジネスバンキングの機能を備えています。DBPP はイベントストリーミングなどの優れた統合機能を備えており、今回の評価の 1 年前に複数のサードパーティーのフロントエンド・ソリューションと統合されています。参考顧客は、ベンダーの納品やサポート、利用可能な API、OOTB のセキュリティ機能、DevOps 環境の前向きな利用について高い満足度を示しました。EdgeVerve (Finacle) は、優れたデザインの近代アーキテクチャを模索し、アジャイル手法によるベンダーとの協業を求める銀行にとって有力な選択肢です。」

Infosys Finacle の最高業務責任者でグローバル部門長の Sanat Rao は次のように述べています。「銀行業界は深いデジタルリセットのさなかにあります。しかし、当社の調査では、大規模なデジタル変革で望み通りの結果を得られと感じる銀行家は 26%しかいないことが分かっています。当社は、業界をリードするデジタルバンキングスイートと SaaS サービスをコンポーネント化した構成可能なアーキテクチャ上に築くことにより、銀行のデジタル変革を一気に成熟レベルに飛躍させる使命を担っています。今回 Forrester 社によりリーダーに選ばれたことは、Finacle のサービスが優れており、既存銀行や挑戦者、新興コーポレートバンクに、他社と差別化できる価値をもたらした証です。」

Infosys Finacle について

Finacle は業界トップのデジタルバンキング・ソリューションです。当社はインフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) の完全子会社である EdgeVerve Systems の事業部門です。Finacle は従来型や新興の金融機関と連携してバンキングを活性化するお手伝いをしています。当社のクラウドネイティブのソリューション・スイートと SaaS サービスは、銀行のエンゲージメント、イノベーション、業務、変革に改善をもたらすことで、デジタル変革を確実にスケールアップします。Finacle ソリューションは、コア・バンキングやデジタルによるエンゲージメント、支払い、現金管理、資産管理、財務、アナリティクス、人工知能 (AI)、ブロックチェーンといった金融機関の要件に対応します。現在では 100 カ国以上の銀行が Finacle を利用しており、10 億人以上の顧客および数百万社の企業の預金、支払い、借入、投資プロセスの改善に寄与しています。詳しくはこちら www.finacle.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度 (2022 年 3 月 31 日付) 年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国



証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

詳細のお問い合わせ先: PR_Global@Infosys.com